報道関係各位

2026年11月2日

角川アスキー総合研究所・道南バス・WILLER ACROSS、データと知見を掛け合わせた バス需要予測の共同研究を開始

バス需要を数カ月先まで予測し、観光需要の取り込みと生活路線の維持につなげる

株式会社角川アスキー総合研究所、道南バス株式会社、 WILLER ACROSS株式会社の3社は、2026年11月1日（日）より、データを活用したバス需要予測に関する共同研究を開始しました。

本共同研究では、北海道の道南バス運行エリアを実証フィールドに、道南バスおよびWILLER ACROSSが保有する運行・予約データと、角川アスキー総合研究所が収集・解析する観光統計などの公開データを組み合わせ、路線ごとの需要を数カ月先まで予測するモデルの構築に取り組みます。

観光需要に応じた運行体制の整備を通じて、収益機会の拡大と生活路線の維持につなげることが狙いです。



■共同研究の背景・目的

全国の地域交通は、人口減少や乗務員不足の影響を受け、生活路線の維持や持続可能な運行体制の確保が喫緊の課題となっています。一方、インバウンドを含む観光需要の拡大は、バス事業者にとって収益機会となるものの、需要を事前に把握することが難しく、需要の高まりに応じた輸送力の確保が間に合わないことで、乗車機会や収益を逃す可能性があります。

こうした課題を踏まえ、本共同研究では、3社が持つ運行・予約データ、交通・観光分野の知見、データ分析技術を掛け合わせ、需要予測を運行計画や観光施策に活用する仕組みの構築に取り組みます。具体的には、道南バスの主な路線運行エリアを対象に、以下の2つの観点から需要を分析する計画です。

①観光需要の予測による「収益機会の最大化」

日本政府観光局（JNTO）が公表する訪日外客数や、観光庁が公表する宿泊旅行統計調査などの公的統計に加え、為替レートや航空便の動向、地域のイベント情報、Web検索動向などを複合的に解析し、インバウンドを含む観光需要を数カ月先まで予測します。予測結果をもとに、増便などの運行施策や需要獲得に向けた施策を事前に検討し、利用者の乗車機会の確保と運賃収入の増加につなげます。

②生活路線の利用実態把握による「地域交通の維持」

通勤・通学・通院・買い物など、地域住民の日常生活を支える路線について、運行・乗降データなどから利用実態を分析します。需要の現状や変化を把握し、地域の交通課題の整理や生活路線の維持に向けた運行施策の検討に活用することで、持続可能な地域交通の実現につなげます。

なお、本研究は2026年11月から2027年3月までを第1期とし、データ収集環境の構築、予測モデルの設計、実データを用いた精度検証を行います。2027年春以降は第2期として、予測モデルを活用した運行計画や集客施策の実践・検証に取り組む予定です。道南バスでの取り組みをモデルケースとし、今後は全国各地の自治体やバス事業者との連携を進めます。地域ごとの交通事情や観光需要に応じた需要予測と施策の検討を通じて、地域交通の維持・発展と観光の活性化につなげます。

■各社の役割

WILLER ACROSS：

予約データの提供、交通・観光分野の知見を活かした課題整理、需要予測をもとにした交通事業者や自治体・DMOなどとの施策検討・提案

道南バス：

運行・予約・乗降データの提供、運行現場の知見・課題の共有

角川アスキー総合研究所：

観光統計・人口動態・Web情報等の各種データの収集・解析、需要予測モデルの設計・構築

■株式会社角川アスキー総合研究所について

角川アスキー総合研究所は、メディア運営やコンテンツ制作で培った知見を生かし、調査、コンサルティング、マーケティング、ビジネスソリューション、出版、教育支援など幅広い事業を展開しています。コンテンツ力、メディア力、リサーチ力を総合的に活用し、企業・自治体・官公庁などのお客様が抱える課題の解決に取り組んでいます。

・代表者：垣貫 真和
・所在地：東京都文京区西片1-17-8　KSビル
・公式サイト：https://www.lab-kadokawa.com/

■道南バス株式会社について

道南バスは、大正14年の創業以来、「安全・正確・快適な旅客輸送への奉仕」を経営理念に、室蘭、登別、苫小牧市内を中心とした4支庁25市町村にわたる路線を担っております。このうち札幌と洞爺湖温泉、室蘭、登別温泉、浦河、新ひだか町にそれぞれ直結する長距離路線のほか、新千歳空港と室蘭、登別温泉、苫小牧をそれぞれ結ぶ空港アクセス路線を運行しています。

・代表者：長谷川 義郎
・所在地：北海道室蘭市東町3丁目25番3号
・コーポレートサイト：https://www.donanbus.co.jp/about/gaiyo/

■WILLER ACROSS株式会社について

WILLER ACROSSは、パートナーとの共創で社会に新たな価値を生み出す会社です。地域や企業が持つ資源・強みと、WILLERが培ってきたさまざまな知見、さらに異なる分野や発想を掛け合わせ、これまでにない体験やサービス、仕組みを創出しています。異なるものを掛け合わせる「VALUE REMIX」戦略を掲げ、パートナーとともに、新たな価値で未来をつくります。

・代表者：宿谷 勝士
・所在地：東京都中央区京橋一丁目13番1号 WORK VILLA KYOBASHI6階
・コーポレートサイト：https://willer-across.co.jp/#company

【本件に関する報道関係者からのお問い合わせ先】
株式会社角川アスキー総合研究所　広報担当 堀　press-cp@lab-kadokawa.com